

各地区会長年頭挨拶

北海道地区道路利用者会議会長



北海道議会議員
石塚 正寛

平成27年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

当会議の運営および諸活動も重要な社会基盤であり、動につきまは日頃から本道の冬の厳しい気象条件などの道路環境を踏まえ、心より感謝申し上げます。

北海道は、広大な面積を有し豊かな自然環境をはじめ、四季折々の景観、豊富で新鮮な食など国内外に誇れる資源の宝庫です。一方、都市や観光地等が点在し、道の移動、物資の輸送の大半

を自動車交通に依存していることから、道路は本道の経済・社会活動を支える最も重要な社会基盤であり、本道の冬の厳しい気象条件などの道路環境を踏まえ、心より感謝申し上げます。

また、北海道新幹線の開業がいよいよ来年に迫っており、開業効果を早期に実現させるためにも、新幹線からの2次交通ネットワークの整備を図る必要があります。

一方、昨年は、道内ではじめてとなる大雨特別警報が発表されるなど集中豪雨や暴風雪など度重なる異常気象により、土砂崩れや吹雪などの自然災害が多発し

地域が分断されるため都市間距離が長く、また、豪雪地帯を有するなど大変厳しい自然環境にあります。

また、政府としても本格的に取り組みとされている地方の人口減少問題についても、他地域に比べて深刻な状況にあり、まさに喫緊の課題となっております。

このような中、今後、東北地方が持続的・安定的な成長を実現するためには、交流人口・物流の増大や雇用の創出などに寄与する都市間ネットワークの充実を図ることが大変重要であります。このため、現在進められている「三陸沿岸道路」「東北横断自動車道」

東北地区道路利用者会議会長



(公社)宮城県トラック協会会長
須藤 弘三

平成27年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げますが、被災地では、現在も官民一体となって、復旧・復興に向けた取り組みが続いており、改めて全国の各地の多くの支援者の皆様、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、東北地方は、国土の約2割を占める広大な面積を有しており、地勢的にも

「はじめて釧路管内に到達するなど着実に整備が進められている一方で、ミッシングリンクが多数存在し、地域の中核をなす都市でさえいまだネットワーク化されておらず、「食」や「観光」をはじめとする産業・経済活動の活性化、地域間の交流・連携の促進、救急医療施設へのアクセス向上や大規模災害時の広域交通の確保など、北海道が今後の交通安全対策なども進め交通ネットワークの早期形成は是非とも必要です。

今後とも安全で安心できる豊かな暮らしに不可欠な道路整備の促進や必要な予算の確保等に全力で取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

また、日頃より当会議の諸活動及び運営等につきま

平成27年の年頭に当たり、全国の皆様は謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃より当会議の諸活動及び運営等につきま

関東甲信越地区道路利用者会議会長



栃木県茂木町町長
古口 達也

平成27年の年頭に当たり、全国の皆様は謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃より当会議の諸活動及び運営等につきま

平成27年の年頭に当たり、全国の皆様は謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃より当会議の諸活動及び運営等につきま

平成27年の年頭に当たり、全国の皆様は謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃より当会議の諸活動及び運営等につきま

も何でもなく、新たな拠点づくりや新たな仕組みづくりのために道路を整備していくのであり、この事こそが地方創生の意味だと思っています。

また、地方創生は「まち・ひと・仕事」と言われていますが、これは順番が逆であり仕事は先だと思

また、地方創生は「まち・ひと・仕事」と言われていますが、これは順番が逆であり仕事は先だと思

また、地方創生は「まち・ひと・仕事」と言われていますが、これは順番が逆であり仕事は先だと思

また、地方創生は「まち・ひと・仕事」と言われていますが、これは順番が逆であり仕事は先だと思

また、地方創生は「まち・ひと・仕事」と言われていますが、これは順番が逆であり仕事は先だと思

また、地方創生は「まち・ひと・仕事」と言われていますが、これは順番が逆であり仕事は先だと思

また、地方創生は「まち・ひと・仕事」と言われていますが、これは順番が逆であり仕事は先だと思

中部地区道路利用者会議会長



(一社)愛知県トラック協会会長
小幡 銀伸

平成27年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃より当会議の諸活動及び運営等につきま

平成27年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃より当会議の諸活動及び運営等につきま

平成27年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃より当会議の諸活動及び運営等につきま

力を強みとしています。

これらを活かして、今後も我が国をリードする役割を果たしていくためにも、総合的な道路ネットワークの形成は、健全な社会経済活動を進めていく上で、重要な課題となっております。

特に、地域間を結ぶ高規格幹線道路から地域住民の暮らしに密着した市町村道に至るまでの体系的な道路網の整備は、道路利用者が強く求めてやまないものであると言えます。社会基盤の根幹をなす道路整備の促進により、人流・物流の活

平成25年を「メンテナンス元年」と位置付け、これまでに道路法や道路法施行令などを改正し、国道、都道府県道、市町村道等の全ての道路管理者に対する道路インフラ点検義務を明確化し、平成26年度には、点検

一方、南海トラフ巨大地震の発生が危惧されている地域でもあります。

「社会資本整備重点計画」に基づき道路整備を計画的かつ着実に推進するとともに、早期の実現を図るため、必要な道路整備費を確保することを柱とした要望活動を続けています。

さて、平成24年12月に発生した中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故を契機として、道路の老朽化対策に本気で取り組まなければならないといった機運

兵庫県丹波市に災害救助法が適用される等の甚大な被害がもたらされました。